

沖繩県説明資料

- 沖繩県教育庁提出資料 1
- 沖繩県企画部提出資料 12

沖繩県教育庁提出資料

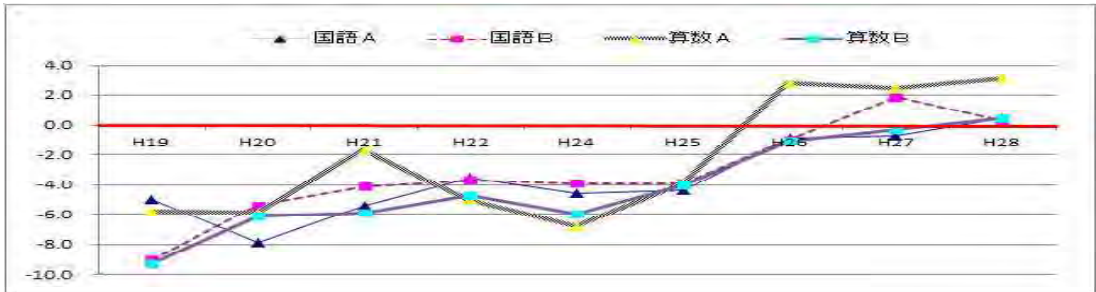
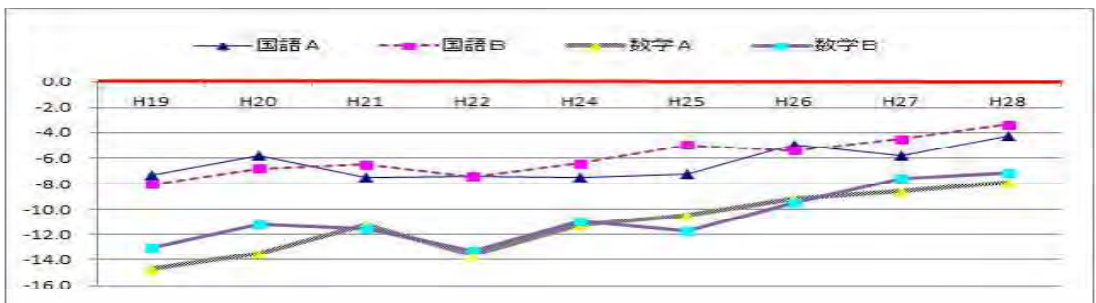
平成29年3月15日

人材育成に係る専門委員会合

小中高の現状、課題

沖縄県教育庁

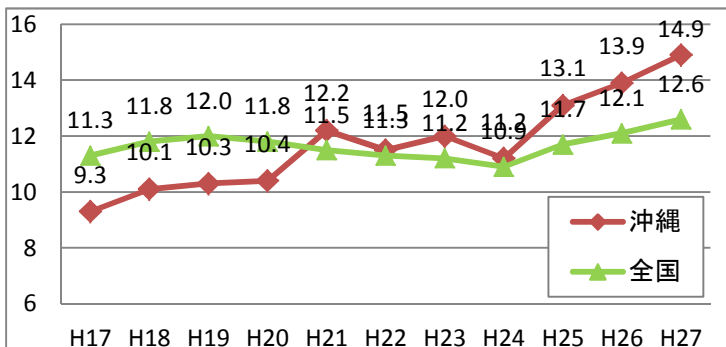
沖縄県の公立小・中学校における現状と課題について

事項	学習状況について
現状	<p>【小学校】</p>  <p>全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国と本県の差（小学校）</p> <p>【中学校】</p>  <p>全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国と本県の差（中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校は、初めて、国語A、B、算数A、Bの全科目において全国平均を上回った。 ・ 中学校は、国語A、Bが全国平均正答率との差が-5ポイント以内、数学A、Bが-8ポイント以内となり、その差をさらに縮小させている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校においては、全科目で全国平均に到達し改善が見られるものの、学校間差が見られ、全学校が全国水準に到達することが求められる状況である。 ・ 中学校においては、全科目で授業改善は進んでいるが学習理解面で全国平均に至っていない等の課題が見られ、継続した授業改善が求められている状況である。 ・ 小・中学校においては、学校質問紙における「思考を深める発問や指導」、「発言や発問の時間確保」の積極的に取り入れている割合が全国と比べて低いので、教師の授業力向上が求められている状況である。 <p>【参考（平成28年度学校質問紙より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「思考を深める発問や指導」を、そのとおりだと思いと回答した割合 小学校（本県21.6%、全国33.5%）、中学校（本県13.6%、全国26.2%） ・ 「発言や発問の時間確保」を、そのとおりだと思いと回答した割合 小学校（本県29.3%、全国48.4%）、中学校（本県18.4%、全国36.3%）
取組	<ol style="list-style-type: none"> ①学校支援訪問 ②秋田県人事交流事業 ③授業改善アドバイザー ④文部科学省の学力調査官を招聘した授業改善 ⑤沖縄県 Web システム ⑥沖縄県学力到達度調査

沖縄県の小中学校における課題と現状について

【小中:不登校】

現状 1. 小中学校1,000人当たりの不登校児童生徒の割合(過去10年の全国比較)



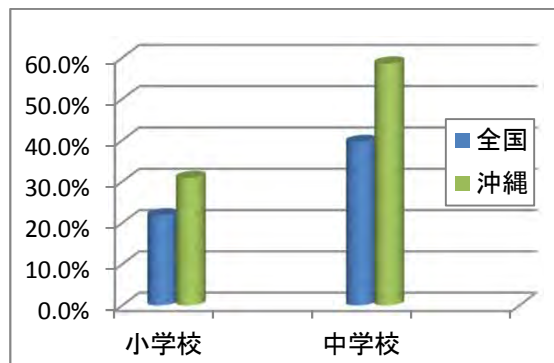
	小学校	中学校
全国平均	4.2	12.1
ワースト3	5.4	14.9
ワースト2	5.4	15.4
ワースト1	5.7	15.7

小中学校でワースト3に入っているのは、沖縄県のみである。

2. 平成27年度 不登校児童生徒の要因(全国比較)

学校種	区分	沖縄	全国
小学校	その他(理由不明)	32.7%(1位)	22.5%(3位)
	「不安」の傾向	28.5%(2位)	33.7%(1位)
	「無気力」の傾向	26.9%(3位)	28.6%(2位)
中学校	「あそび・非行」の傾向	35.8%(1位)	7.6%(5位)
	「不安」の傾向	24.6%(2位)	29.7%(2位)
	「無気力」の傾向	22.2%(3位)	30.6%(1位)

3. 平成27年度 長期欠席児童生徒「その他のうち「不登校」の要因を含んでいる者」(全国比較)



	小学校	中学校
全国	21.8%	39.6%
沖縄	30.9%	58.6%

小中学校1,000人当たりでは、全国は0.8人に対し沖縄は1.6人で2倍である。本県の不登校児童生徒が内在的に存在する現状がある。

課題 4. 本県の「不登校児童生徒」の分析と課題

- ・平成27年度の小学校「不登校児童」は全国ワースト1で、今後、中学校での増加が懸念される。
- ・小学校の不登校児童の要因として、「その他」は分類別では32.7%で最も多く、区分別でも家庭に係る状況が最も高い数値を示している。さらに、本県の特徴として、小1から小2への不登校児童の増加率は1.92倍であることから、幼少期の児童を持つ保護者への支援が課題である。
- ・中学校の不登校生徒の要因として、「あそび・非行」分類別では35.8%で最も多く、区分別では学校に係る状況の中の「学校のきまり等をめぐる問題」が最も高い数値を示し、次に学業不振が高い数値となっている。また、本県は小6から中1への不登校児童生徒の増加率は、2.64倍であることから、学業やきまりをめぐる問題に対応するために、小中連携の強化を図り、同時に個々の抱える環境を改善できる支援が課題である。
- ・対策として、SSWの処遇改善を図り、保護者支援や小中連携を担える優秀な人材を多く採用する等、より効果性の高い取組が急務である。

沖縄県の県立高等学校の現状と課題について

事 項	大学等進学率について																																																																																							
現状	<div style="text-align: center;"> <p>大学等進学率(学校基本調査 県立+私立)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H1</th><th>H2</th><th>H3</th><th>H4</th><th>H5</th><th>H6</th><th>H7</th><th>H8</th><th>H9</th><th>H10</th><th>H11</th><th>H12</th><th>H13</th><th>H14</th><th>H15</th><th>H16</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28 3卒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●全国</td> <td>30.7</td><td>30.6</td><td>31.7</td><td>32.7</td><td>34.5</td><td>36.1</td><td>37.6</td><td>39.0</td><td>40.7</td><td>42.5</td><td>44.2</td><td>45.1</td><td>45.1</td><td>44.9</td><td>44.6</td><td>45.3</td><td>47.3</td><td>49.4</td><td>51.2</td><td>52.8</td><td>53.9</td><td>54.3</td><td>53.9</td><td>53.5</td><td>53.2</td><td>53.8</td><td>54.5</td><td>54.7</td> </tr> <tr> <td>■沖縄</td> <td>20.7</td><td>19.6</td><td>19.4</td><td>20.2</td><td>20.1</td><td>21.0</td><td>22.9</td><td>23.5</td><td>26.2</td><td>27.7</td><td>28.8</td><td>29.9</td><td>31.1</td><td>31.2</td><td>30.2</td><td>31.0</td><td>31.1</td><td>33.6</td><td>33.5</td><td>36.1</td><td>37.1</td><td>36.6</td><td>36.7</td><td>36.2</td><td>38.2</td><td>37.7</td><td>39.8</td><td>39.2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: x-small;">【学校基本調査】</p> </div> <p>大学等進学率は平成元年の 20.7 %以降、増加傾向にあるが、全国と比較すると、依然として開きがある。 平成 28 年 3 月卒業生 39.2 % (最下位) 全国 54.7 %</p> <p>【参考】 ※学校基本調査</p> <p>① 大学等志願率 48.1 % (41 位) 全国 61.0 % ② 平成 28 年度入試大学センター試験現役志願率 28.7 % (最下位) 全国 43.4 % ※大学入試センター発表 ③ 大学進学率 34.9 % (45 位) 全国 49.2 %</p>		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 3卒	●全国	30.7	30.6	31.7	32.7	34.5	36.1	37.6	39.0	40.7	42.5	44.2	45.1	45.1	44.9	44.6	45.3	47.3	49.4	51.2	52.8	53.9	54.3	53.9	53.5	53.2	53.8	54.5	54.7	■沖縄	20.7	19.6	19.4	20.2	20.1	21.0	22.9	23.5	26.2	27.7	28.8	29.9	31.1	31.2	30.2	31.0	31.1	33.6	33.5	36.1	37.1	36.6	36.7	36.2	38.2	37.7	39.8	39.2
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 3卒																																																												
●全国	30.7	30.6	31.7	32.7	34.5	36.1	37.6	39.0	40.7	42.5	44.2	45.1	45.1	44.9	44.6	45.3	47.3	49.4	51.2	52.8	53.9	54.3	53.9	53.5	53.2	53.8	54.5	54.7																																																												
■沖縄	20.7	19.6	19.4	20.2	20.1	21.0	22.9	23.5	26.2	27.7	28.8	29.9	31.1	31.2	30.2	31.0	31.1	33.6	33.5	36.1	37.1	36.6	36.7	36.2	38.2	37.7	39.8	39.2																																																												
課題	<p>① 島嶼県であるため、県外大学訪問やオープンキャンパスへ参加する機会が限られている。</p> <p>② 県内志向が強いが、県内大学の募集定員は限られている。</p> <p>③ 県外大学等へ進学する際は、経済的負担が大きい。</p> <p>【参考】</p> <p>① 平成28年度進路希望調査 3 年生 4 月 ※県立学校教育課調査 大学進学希望者 44.2 % (内訳：県内約 6 割、県外約 4 割)</p> <p>② 県内大学・短大入学者に占める県内出身者の割合 入学者数：4,739 名 内 訳：県内：3,772 名(79.6 %) 県外：967 名(20.4 %)</p>																																																																																							
取組	<p>① 進学力グレードアップ推進事業</p> <p>② キャリア教育支援事業</p> <p>③ アクティブラーニング研修事業</p> <p>④ 達成度テストの実施 (3 年毎)</p> <p>⑤ 本県教育の課題解決を図るため研究校を指定</p> <p>⑥ 進路指導主任負担軽減に係る非常勤配置 等</p>																																																																																							

沖縄県の県立高等学校の現状と課題について

事項	就職率について																																																												
現状	<p>本県高校生の就職内定率及び就職後の定着率（早期離職率）は全国最下位の状況であり、継続した取り組みが必要である。</p> <div style="text-align: center;"> <p>就職内定率及び早期離職率の推移</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">H16</th> <th style="text-align: center;">H17</th> <th style="text-align: center;">H18</th> <th style="text-align: center;">H19</th> <th style="text-align: center;">H20</th> <th style="text-align: center;">H21</th> <th style="text-align: center;">H22</th> <th style="text-align: center;">H23</th> <th style="text-align: center;">H24</th> <th style="text-align: center;">H25</th> <th style="text-align: center;">H26</th> <th style="text-align: center;">H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">就職内定率 (全国)</td> <td style="text-align: center;">97.2%</td> <td style="text-align: center;">98.1%</td> <td style="text-align: center;">98.4%</td> <td style="text-align: center;">98.3%</td> <td style="text-align: center;">97.8%</td> <td style="text-align: center;">97.2%</td> <td style="text-align: center;">97.8%</td> <td style="text-align: center;">98.5%</td> <td style="text-align: center;">99.0%</td> <td style="text-align: center;">99.3%</td> <td style="text-align: center;">99.6%</td> <td style="text-align: center;">99.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">就職内定率 (沖縄県)</td> <td style="text-align: center;">84.9%</td> <td style="text-align: center;">92.7%</td> <td style="text-align: center;">93.0%</td> <td style="text-align: center;">92.2%</td> <td style="text-align: center;">85.5%</td> <td style="text-align: center;">81.8%</td> <td style="text-align: center;">86.6%</td> <td style="text-align: center;">88.5%</td> <td style="text-align: center;">90.3%</td> <td style="text-align: center;">92.6%</td> <td style="text-align: center;">92.7%</td> <td style="text-align: center;">93.6%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">卒業年月</th> <th style="text-align: center;">H20.3</th> <th style="text-align: center;">H21.3</th> <th style="text-align: center;">H22.3</th> <th style="text-align: center;">H23.3</th> <th style="text-align: center;">H24.3</th> <th style="text-align: center;">H25.3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">早期離職率 (全国)</td> <td style="text-align: center;">37.6%</td> <td style="text-align: center;">35.7%</td> <td style="text-align: center;">39.2%</td> <td style="text-align: center;">39.6%</td> <td style="text-align: center;">40.0%</td> <td style="text-align: center;">40.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">早期離職率 (沖縄県)</td> <td style="text-align: center;">56.0%</td> <td style="text-align: center;">50.4%</td> <td style="text-align: center;">56.0%</td> <td style="text-align: center;">61.7%</td> <td style="text-align: center;">55.4%</td> <td style="text-align: center;">59.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	就職内定率 (全国)	97.2%	98.1%	98.4%	98.3%	97.8%	97.2%	97.8%	98.5%	99.0%	99.3%	99.6%	99.7%	就職内定率 (沖縄県)	84.9%	92.7%	93.0%	92.2%	85.5%	81.8%	86.6%	88.5%	90.3%	92.6%	92.7%	93.6%	卒業年月	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	早期離職率 (全国)	37.6%	35.7%	39.2%	39.6%	40.0%	40.9%	早期離職率 (沖縄県)	56.0%	50.4%	56.0%	61.7%	55.4%	59.7%
年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27																																																	
就職内定率 (全国)	97.2%	98.1%	98.4%	98.3%	97.8%	97.2%	97.8%	98.5%	99.0%	99.3%	99.6%	99.7%																																																	
就職内定率 (沖縄県)	84.9%	92.7%	93.0%	92.2%	85.5%	81.8%	86.6%	88.5%	90.3%	92.6%	92.7%	93.6%																																																	
卒業年月	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3																																																							
早期離職率 (全国)	37.6%	35.7%	39.2%	39.6%	40.0%	40.9%																																																							
早期離職率 (沖縄県)	56.0%	50.4%	56.0%	61.7%	55.4%	59.7%																																																							
課題	<p>(1) 就職内定率の向上</p> <p>(2) 定着率・早期離職率の改善</p> <p>(3) 県内企業の採用試験から内定通知までの期間が長いこと</p>																																																												
取組	<p>1. 改善の方針</p> <p>(1) 就職内定率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 希望進路早期決定と就職活動早期開始の徹底 ② 各校の就職指導の充実 ③ 求人開拓による生徒の選択肢の拡充 ④ 労働局・商工労働部等の関係機関との連携 <p>(2) 定着率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 定着指導の充実 ② 関係機関との連携強化 <p>2. これまでの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 就職指導支援事業 (2) 就職活動キックオフ事業 																																																												

沖縄県の県立高等学校の現状と課題について

事項	中途退学について
現状	<p>○平成 27 年度、県立高等学校の中途退学者数は 707 人(過去最少)</p> <p>○中途退学率は、H25 : 2.6 %、H26 : 2.2 %、H27 : 1.6 %と減少。</p> <p>○平成 27 年度の中途退学の理由は、「進路変更」が 57.9 %、「学校生活・学業不適応」が 12.3 %となっている。</p> <p>○「進路変更」のうち、「就職を希望」が 35.1 %で最も高い。</p>
課題	<p>○平成 27 年度の中途退学率は全国が 1.4 %、県立高校が 1.6 %であり、前年度の 0.7 ポイント差から 0.2 ポイント差まで縮小しているが、依然として高い状況である。</p> <p>○中途退学の理由の背景には、基礎学力における課題や他の高校等への再受検、学校やクラスに馴染めない等、様々なことが要因になっている。</p> <p>○中退学懸念者に対して、本人・保護者の意思を確認し、丁寧にかかわり続ける支援・指導を行っており、対応する職員等の負担軽減が求められている。</p>
取組	<p>○中途退学対策担当職員への加配 (H28 : 15 校)</p> <p>○スクールカウンセラー等の配置 (H28 : 51 校)</p> <p>○教育相談担当教諭の授業 4 時間の負担軽減 (H28 : 18 校)</p> <p>○高等学校生徒就学支援センターの活用</p> <p>○教員の資質向上等のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中途退学担当者連絡協議会 (全体会 5 月、定時制部会 1 月) ・中途退学対策担当者加配校連絡協議会 (年 2 回) ・中途退学対策担当者加配校学校訪問 (年 2 回) <p>○各学校において、中途退学者の目標値の設定。</p> <p>○中途退学者及び毎月の退学者数の報告</p> <p>○中途退学に係る先進校視察</p> <p>○中途退学対策に係るホームページの作成・更新</p>

県立高等学校の中途退学者数及び中途退学率の推移



沖縄県の高等学校の現状と課題について

事 項	不登校について																																
現 状	<p>○平成 27 年度、県立高等学校の不登校者数は 1,268 人、1,000 人当たりの不登校生徒数は 28.8 人となっている。</p> <p>○県立高等学校における不登校生徒数は H25：1,428 人、H26：1,332 人、H27：1,268 人で、1,000 人当たりの不登校生徒数は H25：31.9 人、H26：29.9 人、H27：28.8 人と減少傾向にある。</p> <p>○県立高等学校における不登校の要因には、「あそび・非行」が 33.1 %、「無気力」が 27.1 %、「不安」が 9.4 %となっております。</p>																																
	<p>高等学校における不登校者数の推移(平成21年度～)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>高等学校における不登校者数の推移(平成21年度～)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>県立高校</th> <th>県立千人当</th> <th>全国千人当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>1314</td> <td>28.0</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1375</td> <td>29.7</td> <td>16.6</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1382</td> <td>30.0</td> <td>16.8</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1465</td> <td>32.2</td> <td>17.0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1428</td> <td>31.9</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1332</td> <td>29.9</td> <td>15.9</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1268</td> <td>28.8</td> <td>14.9</td> </tr> </tbody> </table>	年度	県立高校	県立千人当	全国千人当	H21	1314	28.0	15.5	H22	1375	29.7	16.6	H23	1382	30.0	16.8	H24	1465	32.2	17.0	H25	1428	31.9	16.7	H26	1332	29.9	15.9	H27	1268	28.8	14.9
年度	県立高校	県立千人当	全国千人当																														
H21	1314	28.0	15.5																														
H22	1375	29.7	16.6																														
H23	1382	30.0	16.8																														
H24	1465	32.2	17.0																														
H25	1428	31.9	16.7																														
H26	1332	29.9	15.9																														
H27	1268	28.8	14.9																														
課 題	<p>○平成 27 年度の 1,000 人当たりの不登校生徒数は全国が 14.9 人で県立高校の 28.8 人とは 2 倍近い差がある。</p> <p>○不登校の要因としては、「あそび・非行」が最も高く、全国の 12.5 %と比べ、20 ポイント以上の差がある。</p> <p>○不登校の実態は多様であり、コミュニケーション能力や基礎学力の不足からくる学習意欲の低下、家庭や地域の教育力の低下や夜型社会の影響による基本的習慣の未確立等が背景にある。</p> <p>○不登校対策に係る事業の拡充が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談・就学支援員配置事業 (H28：13 校) (ソフト交付金) ・スクールカウンセラーの配置 (H28：51 校) ・教育相談担当教諭の授業 4 時間の負担軽減 (H28：18 校) 																																
取 組	<p>○不登校改善の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業づくり」等による「魅力ある学校づくり」の推進 ・家庭と連携した基本生活習慣の確立 <p>○教員の資質向上のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談実践事例研修会 (年 2 回：全校の担当教諭対象) ・カウンセリング実践講座 (年 27 回、108 時間、希望教諭等) <p>○子ども若者みらいプラザ「ソラエ」等との連携</p> <p>○新たな不登校生徒を生まないことが不登校生徒の減少に繋がることから、早期に休みがちな生徒を把握ため、不登校及び準不登校(15 日以上欠席)の調査を実施してる。</p>																																